



館長だより

山形県産業科学館

令和7年4月10日(木)

発行 館長 加藤 智一

なぜ、ソメイヨシノはいっせいに散るの

わたしたちがもっとも親しんでいるソメイヨシノは、開花から満開までの日数が九州から関東までは約7日、北陸から北海道までが5日ほど。そして、満開から数日すると一斉に散り始めます。ということは開花から10日ほどで散ってしまうことになります。花冷えで気温が下がれば2週間ぐらひは持ちますが、逆に気温が高いと1週間で散ってしまうとも言われています。花が散るのは、花びらの根元に離層という細胞層が形成され、それまで付着していた花托から切り離されるからです。ではなぜ、ソメイヨシノはいっせいに散るのでしょうか。ソメイヨシノは、江戸時代後期に染井村（現在の東京都豊島区）の植木職人によって作り出されたといわれています。しかし、ソメイヨシノ同士では交配できず、接ぎ木でしか殖やせません。そのため、ソメイヨシノは1本の原木から接ぎ木によって増えていった、同じ遺伝子を持つクローンなのです。野生のヤマザクラのように、それぞれが異なる遺伝子であれば、個体によって開花のタイミングも異なりますが、ソメイヨシノはすべて同じ遺伝子を持っているクローンですから、その地域で気温の条件などが揃えば、一斉に咲き始め、満開となり、散っていくのです。

ソメイヨシノは、育てやすいことや樹高もそれほど高くないこと、そして花がいっせいに咲くことから、花見に向いています。また一斉に潔く散る様子が日本人の感性と合っていたため、全国に広がっていきました。いまや日本中の桜の約8割がソメイヨシノといわれています。しかし、ソメイヨシノの寿命は、60年程度と言われており、戦後植えられた多くのソメイヨシノは一斉に寿命をむかえつつあります。



また、生育が盛んな一方で病気に弱く、クビアカツヤカミキリなどの害虫による食害にも弱いとされており、これらの理由で、比較的早く木の内部が不朽・空洞化して、倒木する可能性が高いとされています。また、植物にとっては環境の悪い街路樹として多用されているため、排気ガスなどで痛むことが多いとされています。私がひそかに心配しているのは、数年後、ソメイヨシノ問題が勃発するのではないかということです。花見文化を守るためにも、ソメイヨシノに頼らない植樹を順次進めていく必要があるのではないのでしょうか。

平成生まれ「チェキ」売れてます

2025. 4. 9 日刊工業新聞より
富士フィルムは8日、インスタントカメラ「チェキ」シリーズの累計販売台数が1億円を超えたと発表しました。初代チェキが発売されたのは1998年。撮ったその場でカードサイズの写真が印刷されるアナログさが、デジタル全盛期の令和に高い評価をえています。デジタルカメラやカメラ付携帯電話の普及で一時は販売が減少しましたが、2012年に「instax mini 8」を発売し、かわいらしい色合いで若い女性を中心に人気が復活。近年はインドなどアジアを中心に海外で販売が伸びているそうです。

